

① 現在の整備シナリオ

○目標規模までの浸水被害の軽減

- ・河床掘削あり
- ・銀橋狭窄部開削あり
- ・余野川ダム建設あり

*既往の堤防が破堤することにより、壊滅的な被害が生じる可能性がある。

NG!

② シナリオ1

=河川事業先行

○破堤による壊滅的被害回避を最優先

○浸水被害の軽減

- ①堤防嵩上げ、河床掘削は行わない。
- ②応急的堤防強化を最優先（費用を集中）する。
既往の堤防の安全性が従来より向上し、破堤の危険性を減ずることはできるが破堤を回避することはできない。
- *併せて、スーパー堤防による堤防強化を進める。
- ③中島築堤は下流の水位増のため早期に実施できない。
ダムの効果を踏まえて検討する。
- ④銀橋狭窄部の開削は行わない。
- ⑤余野川ダムは応急的堤防強化を最優先（費用を集中）させた後、建設を行う。

*川池地区下流の浸水被害を早期（中島を築堤するまで）に軽減できない。

NG!

③ シナリオ2

=河川事業及び余野川ダム平行

○破堤による壊滅的被害回避の最優先

○浸水被害の軽減

- ①堤防嵩上げ、河床掘削は行わない。
- ②応急的堤防強化を最優先する。
既往の堤防の安全性が従来より向上し、破堤の危険性を減ずることはできるが破堤を回避することはできない。
- *併せて、スーパー堤防による堤防強化を進める。
- ③中島築堤は下流の水位増のため早期に実施できない。
ダムの効果を踏まえて検討する。
- ④銀橋狭窄部の開削は行わない。
- ⑤余野川ダムは継続し、川西池田地区及び下流の浸水被害を早期に軽減する。